



いなぎ



▲オーエンス健康プラザ屋上の太陽光発電システム

温暖化防止特集号

お問い合わせ

環境課環境保全係(内線266)
環境政策係(内線264)



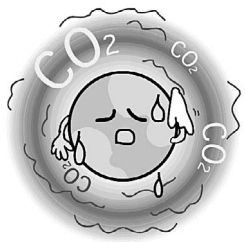
ホームページ <http://www.city.inagi.tokyo.jp/>
公式ツイッター http://twitter.com/inagi_city
◀メール配信サービス(登録される方は、左のQRコードから、または「inagicity@emp.ikkr.jp」に空メールを送信してください)

市役所(代表) ☎042-378-2111
平尾出張所 ☎042-331-6346
若葉台出張所 ☎042-350-6321
開庁時間 午前8時30分～午後5時

発行 東京都稲城市 編集 秘書広報課広報広聴係 〒206-8601 東京都稲城市東長沼2111 ☎042-378-2111 ☎042-377-4781

みんなで始めよう！みんなで続けよう！みんなで広げよう！ 温暖化防止に向けた取り組みを！

地球温暖化は現実の問題です



現在地球では、人間の活動によって増加した「温室効果ガス」の影響により、気温や海水温が上昇してしまう「地球温暖化」が世界規模で起こっています。

この地球温暖化が進行することにより、砂漠化の進展などの直接的な影響のほか、気温の上昇に耐えられない動植物の絶滅や農産物の生育不順など、たくさんの問題が起こってくるものと予想されています。

日本においても、温暖化が進むことで、蚊などが媒介する感染症の流行拡大などが心配されています。

温暖化の問題は、今すぐ取り組まなければならない課題であり、長く続けていくことが重要です。楽しく続けられる工夫や、日々の生活の負担にならないような工夫を考えて、一人ひとりに合った環境負荷の少ないライフスタイルへの転換を目指しましょう。

「住宅用創エネルギー機器等導入促進事業」を実施します！

市では、地球温暖化対策の推進に向け、主に自家消費を目的として住宅に設置される太陽光発電システムなどに対し、設置費用の一部を助成する制度を実施します。

【対象】平成25年度内に対象機器を設置した世帯で、住民税などの滞納がない世帯(戸建住宅・集合住宅)

※社員寮や賃貸住宅などにおいて、居住者が設置費用を負担しない場合は対象となりません。

【予算総額】5,975,000円

【対象機器・補助額】

- ①太陽光発電システム…2万円/kW(上限6万円) ※75世帯
- ②太陽熱利用システム…5千円/㎡(上限3万円) ※5世帯
- ③エネファーム……………10万円/台 ※12世帯
- ④蓄電池……………2万5千円/台 ※5世帯

※助成申請額が予算額を超過した場合には、抽選を行います。

【募集時期】第1回 平成25年10月1日(火)～17日(木)

第2回 平成26年1月27日(月)～2月12日(水)

【申込方法】募集期間内に、助成申請書・機器の領収証・電力需給契約書などを添えて、環境課窓口まで直接お持ち込みください。

※詳細については、再度広報いなぎ等でお知らせします。

【申込先・問い合わせ】環境課環境政策係

☎378-2111(内線264)

「ライトダウンジャパン2013」にご協力ください

環境省では、2003年より温暖化防止を目的にライトアップ施設や家庭の消灯を呼び掛ける「ライトダウンキャンペーン」を実施しています。

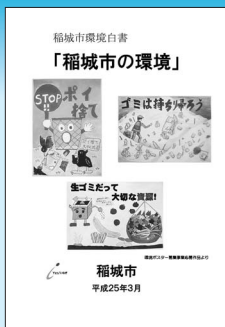
本年は、「でんきを消す夜。地球を想う夜が、ちょっとステキになりますように。」をスローガンに、6月21日(金)〔夏至ライトダウン〕と7月7日(日)〔七夕ライトダウン〕を特別実施日として、午後8時から10時までの2時間の一斉消灯を呼び掛けています。キャンペーンにご賛同いただける方はご協力をお願いします。

キャンペーン参加の受付は「ライトダウンジャパン2013」ホームページ(HP <http://coolearthday.jp/>)をご確認ください。



ご覧いただけます 環境白書「稲城市の環境」

市では、市内環境の状況をまとめた環境白書「稲城市の環境」を毎年発行しています。最新の平成24年度発行のものを各市立図書館で閲覧できるほか、市ホームページ[トップページ→市政の情報→計画・報告→稲城市の環境(平成25年3月発行)]でも見ることができます。ぜひご覧ください。



生きもののつながりについて、学んでみませんか？ ♪チャレンジャー大募集♪ いなぎ生きものクイズラリー 「“生物多様性”の謎をとけ！」in城山公園

城山公園を舞台に、謎解きを通じて生きものやそのつながりを楽しみながら学べるイベントです。グループを組んで挑戦するので一人での参加もOKです。大人の方も奮ってご参加ください。

【対象】市内在住で小学生以上の方(小学3年生までは要保護者同伴)

【日時】8月4日(日)午前9時～午後0時30分

【会場】城山体験学習館(視聴覚室)及び城山公園

【定員】50人程度(申込先着順)

【申込方法】参加者の住所・氏名・年齢(学年)・電話番号を、電話・ファクス・メールなどの方法でお伝えください。

【申込期限】7月31日(水)

【申込先・問い合わせ】環境課環境政策係

☎378-2111(内線264)

☎378-3310

✉kankyou@city.inagi.lg.jp



稲城市の「生物多様性地域戦略」を一緒に考えましょう！

市では、平成25・26年度に、生物多様性の確保を目的とした地域戦略の策定を予定しており、その検討を行う「(仮称)稲城市民生きもの会議」の参加者を募集します。

【会議名称】(仮称)稲城市民生きもの会議

【内容】平成27～36年度を計画期間とする稲城市の生物多様性地域戦略の策定を行うにあたり、市民・事業者・学校・市などの取り組みを検討します。

【開催頻度】年2～3回程度

※他に、啓発事業の開催などをお手伝いいただきます。

【募集期間】6月14日(金)～28日(金)

【応募資格】市内在住・在勤の18歳以上の方

【募集人数】3人

【応募方法】各文化センター・市役所・出張所・市ホームページにあります「稲城市民生きもの会議参加申込書」に必要事項をご記入のうえ、郵送・ファクス・メールなどの方法でお申し込みください。

【申込先・問い合わせ】環境課環境政策係

☎378-2111(内線264)

☎378-3310

✉kankyou@city.inagi.lg.jp

みんなで考えよう！



©K.Okawara-Jet Inoue

地球のいのち、つないでいこう

生物多様性



できることから始めよう！ 地球温暖化防止 プロジェクトin稲城

市では、稲城市民環境クラブとの協働により、オール東京62市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」の一環として、様々な地球温暖化対策を実施しています。

ちょっとした心掛けで地球を救う「エコドライブ」の実践や、簡単に始められる節電・省エネの取り組みを、みんなで実践していきましょう！

募集中！ 「エコドライブ講習会参加者」と 「エコドライバー宣言者」

家庭から排出されるCO₂は、自家用乗用車からも多く排出されており、環境と家計にやさしい運転方法「エコドライブ」の重要性が高まっています。

加減速の少ない運転や、車載物の減量などの実践により、排気ガスの排出やガソリンの消費を抑制できます。また、マイカーから公共交通機関に移動手段を変更する事も環境に配慮した行動といえます。

ちょっとした心掛けが省エネにつながり、未来の地球を救います。

体験してみよう エコドライブ講習会！

市では多摩ドライビングスクールと連携し、「エコドライブ講習会」を開催しています。教官の指導の下、無料でエコドライブ技術が学べます。エコドライブは安全運転と家計にも優しい一石三鳥の取り組みです！ぜひお申し込みください（申込先着順）。

- 【受講資格】 日常生活で車を運転される方（ペーパードライバー不可）
- 【受講条件】 後日、講習会の結果票とアンケートを環境課にご提出いただきます。
- 【講習会場】 多摩ドライビングスクール(京王線百草園駅より徒歩1分)
- 【講習内容】 エコドライブの講習と実技教習(合計3時間30分程度)
- 【受講方法】 環境課に電話でお申し込みください。応募受付後、講習会チケットを郵送しますので、各自で多摩ドライビングスクールに電話で講習日時を予約してください。
- 【申込先・問い合わせ】 稲城市役所環境課環境保全係 ☎378-2111(内線266)

広げよう エコドライブの輪！

エコドライブの実践を自己宣言してくださる方を募集しています。自己宣言していただいた方には、ステッカーを差し上げます。
※エコドライバー宣言は、環境に優しい運転方法のほか、車両の管理、交通手段の選択など、10の心掛けに賛同し、できることから実践していただくものです。

【宣言方法】 稲城市エコドライバー宣言書（環境課で配布、市ホームページからも入手できます）を環境課窓口^{ひまわり}に持参いただくか、郵送によりご提出ください。

▶エコドライバー宣言者ステッカーです。粘着シールかマグネットのどちらかを宣言者に差し上げます。



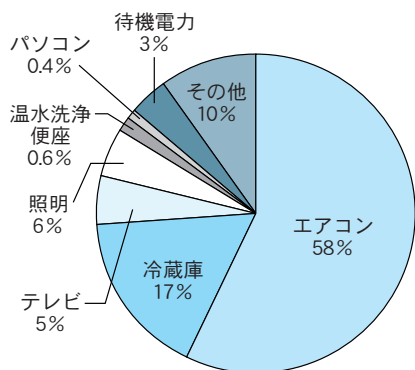
家庭で！職場で！ できることから始めてみよう！ 「節電の取り組み」

2013年夏季の東京電力管内の電力供給は、安定供給に最低限必要とされる予備率3%以上を確保できる見通しであると、経済産業省が示しています。

しかし一方で、発電所の故障などにより、電力需給が逼迫する可能性も引き続き懸念されています。

今夏も無理のない範囲で、できる限りの節電を行いましょう。

エアコンの使用方法を見直してみましよう



【資源エネルギー庁推計】

左の図は、夏の午後2時ごろの在宅世帯における電気機器の消費電力の割合です。

消費電力の大半をエアコンと冷蔵庫が占めていることが分かります。冷蔵庫は冷蔵温度の設定を「中」や「弱」に変更して節電をすることは可能ですが、電源を切ることは難しいものです。

夏の日中は、消費電力が大きいエアコンの使い方を工夫することが、節電で大きな効果をあげるポイントになってきます。

緑のカーテンや打ち水をやってみましよう

緑のカーテンは、つるもの植物を窓辺に育て、夏の日差しを葉っぱに遮ってもらい取り組みです。葉から蒸発する水分がまわりの空気を冷やしてくれる効果もあります。

打ち水は、昔から日本で実践されている庶民の知恵です。

夏の暑い日に地面などに水をまくことで、気化熱がその場の熱を奪い、涼を得られるというものです。

エアコンの使用を上手に減らして、工夫を楽しみながら自然の涼を感じる生活はいかがでしょう。



省エネ家電への買い替えや、LED照明への交換も節電・省エネに有効です

エアコンや冷蔵庫などの家電製品は、年々省エネ性能が向上しています。

家電製品は、使い方で省エネができますが、買い替えの際などの「選び方」でも省エネができます。

家電製品を購入する際は、右の「省エネラベル」を参考に、より環境負荷の少ない製品を選びましょう。

また、照明器具は白熱電球からLED電球に変更することで消費電力を大幅に減らす事ができます。

こうした省エネ性能に優れた製品を選択していくことは、継続的な取り組みとして大変有効です。



▲統一省エネルギーラベル

熱中症にご注意ください

屋内でも熱中症にかかる場合があります。適切な室温・湿度管理やこまめな水分補給を行い、体調には十分気を付けましょう。

特に高齢の方や小さなお子さんのいるご家庭では、暑い日などには適切にエアコンなどで空調管理を行い、無理のない範囲で節電を行いましょう。

無理のない節電とは、エアコンなどの家電製品を全く使わないことではなく、賢く使うことです。

暑い日などは空調管理された施設に出かけたり、家族が1部屋に集まって過ごしてエアコンの稼働台数を少なくするなど、過ごし方の工夫で節電や省エネは実践できます。

それぞれの生活で、無理なく継続できる節電に取り組んでみてください。